

歴史創新

人々の活力とやさしさがあふれる
飛驒高山を目指して

高山市長 くにしまみちひろ 國島 芳明



新しい年が市民の皆様にとって、光り輝き穏やかな年になりますことを心から祈念し、年頭にあたり謹んでごあいさつを申し上げます。

昨年を振り返りますと、8月の豪雨や御嶽山の噴火、年末の豪雪、クマの大量出没など、自然の脅威を痛感させられることが多かった反面、円安の追い風も相まって、今まで地道に取り組んできた誘客プロモーションの効果も表れ、宿泊外国人観光客数が過去最高の見込みになるなど、明るい話題もございました。

危機管理と景気回復は市政をお預かりさせていただく私の政治信条の根幹の一つです。引き続き、市民の皆様の安全安心と地域経済活性化のために、夜を日に継いで邁進いたします。

また、平成22年の初就任時にお約束しました「対話・市民参画・情報公開」の三位一体を進めつつ、市政の主人公は市民の皆様一人ひとりの「新しい高山市を創る」ために、一期目の取り組みに検証を加えながら、市民の皆様の幸せのための新たな施策の枝葉を伸ばしてまいります。

さて、本年は合併10年を迎えます。今でも私の脳裏には、平成17年2月1日の雪降る合併記念式典が焼きついています。あの日を迎えるまでの間、さまざまな調整や決断に汗し、心の涙を流された市町村長をはじめ関係者の皆様と、その後の10年のまちづくりに携われた地域審議会委員をはじめ地域住民の皆様のご多大なるご尽力に、あらためて深甚なる敬意を表します。皆様が願われて止

まなかった「やさしさと活力にあふれる新高山市」のために、私は第七次総合計画に基づき、議会のご意見を伺いながら、多様となった地域資源や地域特性を生かして個性あるまちづくりを進めるとともに、新市の一体感の醸成に向けたさまざまな取り組みを進めてまいりました。

この10年の流れを発展的に継承するとともに、新たな高山市の歴史を創っていく道しるべこそが「第八次総合計画」になります。都市像となる「人と自然、そして文化がおりなす、活力とやさしさがあふれる飛驒高山」を目指すスタートラインが、まさに今年であります。

新たな高山市の歴史を創る仕組みの一つ「協働のまちづくり」も、準備に携わっていただいた皆様をはじめ多くの市民の皆様のご知恵と工夫とご努力のおかげをもちまして具体化できましたことを感謝を申し上げます。必ずや新しい時代になつた仕組みになることを確信しております。

ふるさとの輝かしい未来のために、住んで良かったと思えるふるさとのために、先人から受け継いだ豊かな自然や歴史を次世代に継承するために、これからもみんなの心を一つにして、励まし合いながら、新しい高山市を築いていきたいと思います。

私はその先頭に立つて臨んでまいりますので、市民の皆様におかれましても、より一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。年頭に当たつてのごあいさつとさせていただきます。